

雪崩を想定した遭難者救助訓練を実施

鹿角広域行政組合消防本部

鹿角広域行政組合消防本部では、警察、電力会社と合同で雪崩を想定した遭難者救助訓練を実施しました。訓練は標高約1,000メートルの豪雪地帯で気温マイナス10.0℃、積雪3.6メートルの中、合同指揮本部の設置訓練、連絡手段の確保訓練、関係者からの情報収集訓練、ゾンデ棒やビーコンを活用した捜索救出訓練、雪上車での搬送訓練、各機関からの講話を行うなど、関係機関相互の連携を確認しました。今後も予測できない自然災害に備えて、救助技術の向上を図っていきます。

若年層職員の参画⇒大好評に♪
～小金井ファイア☆フェス2018を開催～

東京消防庁小金井消防署

小金井消防署では、3月4日(日)市民のみなさまに消防を身近に感じて防火防災意識を高めて頂くため、消防署一般公開「小金井ファイア☆2018」を開催したところ、好天にも恵まれ千名近い親子が来場し大盛況となりました。

当日は、若年層職員の意見を積極的に取り入れ、防火衣装着や救助救出演技などの消防演技、小金井消防少年団の鼓笛隊演奏、火災実験コーナー、キッズコーナーなどを開きました。

子どもたちからは「また来た～い、次はいつ?」と聞かれ、「次回ももっと楽しめる内容に」と決意を新たにしました。



消防演技



少年団の鼓笛演奏

消防通信

望

楼

ぼうろう

堺市消防局イメージキャラクター「タッシー」
がLINEアニメーションスタンプになりました!

堺市消防局

堺市消防局では、新たな広報手法の一つとして当局イメージキャラクター「タッシー」のLINEアニメーションスタンプを作成し、春の火災予防運動が始まる平成30年3月1日(木)から販売を開始しました。

本取組は、幅広い世代に利用されているLINEを活用することで、消防局が発信する各種情報を知っていただくきっかけを作るとともに、アニメーションとすることでタッシーの動きの中に啓発要素を取り入れることが可能となり、スタンプを多くの人に日常的に使用いただくことで、副次的に消防広報につながることを目的としています。また、販売収益は市の歳入となり、消防サービスの向上に資する経費として活用します。

啓発例
ストーブを消してから「おやすみ」イラスト一覧
(全てアニメーション)

お手軽一畳サイズ 発掘実習ミニブース

和歌山県消防局

平成30年3月14日(水)、15日(木)消防局庁舎内において若年職員60名を対象とした火災調査研修会を実施しました。鎮火後の部屋の片隅を一畳サイズで2ブース作成、発掘範囲の決定、警察、関係者との調整や説示、写真撮影など一連の流れを合わせて進めることで現場さながらの発掘調査実習となりました。実はこのミニブース、廃材を利用することでほぼ0円で作成、しかも、除去した焼損物を戻すことで何度でも利用することができる優れたものです。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】